



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2011年（平成23年）11月25日号 No. 1546

## 目次

■ 2011年1～9月のロシア経済と鉱工業生産.....	1
—成長継続するも鈍化の兆しも—	
■ トピックス .....	7
日露エネルギー・環境対話イン新潟／7	
国交省が日本海側拠点港に19港を選定／7	
■ エトセトラ .....	7
日ロ間の経済近代化分野の協力に関する覚書／7	
『調査月報』2011年12月号のご案内／9	

## 2011年1～9月のロシア経済と鉱工業生産 —成長継続するも鈍化の兆しも—

### はじめに

2011年1～9月のロシアの主要経済指標が出揃ったので、今回の速報では鉱工業生産を中心にロシアの経済動向を図表にまとめて掲載するとともに、若干の解説をお届けする。貿易および外国投資の受入に関しては、後日より詳しくお伝えする予定である。

ロシア経済は、引き続き成長基調にある。鉱工業生産では、自動車部門が全体を牽引している。ただ、ここに来て鉱工業生産が鈍化する傾向も見られる。

\* \* \* \* \*

まず、2011年1～9月期のロシアの主要経済指標を、表1にまとめた。ただし、GDPに関してはまだ1～9月の数字が発表されていないので、表1に示したのは上半期（1～6月期）の数字である。もっとも、四半期別のGDPは2011年第3四半期（7～9月期）の速報値まで出ているので、四半期GDPの推移を図1にまとめた。第3四半期のGDPは前年同期比実質4.8%成長したと推計されている。

次に、鉱工業生産につき、より詳しく見ていこう。ロシアの鉱工業生産水準は、リーマン・ショックの影響を受け、2008年暮れから2009年初頭にかけて激しく落ち込んだ。しかし、図2に見るとおり、それ以降は回復に転じ、2011年に入ってから2008年平均の生産水準を上回りつつ、増大基調で推移してきた。